

## 5月22日 君津市の救急医療を考えるシンポジウム

実行委員として参加いたしました。  
200名近くの方に参加いただき、大変価値  
あるシンポジウムとなりました。

これからもこのような会が定期的に開催  
できれば、必ず救急医療の向上に向かう  
と思います。



## 6月18日 「きみつの未来を語る会」開催しました。

ざっくばらんな話し合いをいたしました。参加していただいたみなさんからの意見を今後の活動に活かしていきます。

## 6月21日 自然と人間を考える会公開講座に参加しました。

原子力資料情報室の伴 英幸氏を講師に  
「福島原発事故 浜岡原発と東海地震」と  
いう講演がされました。  
非常に勉強になる事が多く、大変有意義  
でした。50人近い方が参加されていて関  
心の高さが伺えました。

私の意見をここではっきりと表明させてい  
ただきます。「原子力発電所は安全に停止  
できるものから順次止めていくべき」だと  
強く考えています。「原発が止まったら大  
変な電力不足になる」という情報は、完全  
な第三者の見通しではないので、精査す  
る必要があります。



## 6月25日 ドキュメンタリー映画「ひめゆり」上映会

実行委員として参加いたしました。  
約150名の方に参加していただき、大変あ  
りがとうございました。中学生、高校生も  
数名来ていただき、「若い世代とともに見  
る」という事もできました。戦争も、震災も

いかに次の世代に伝え、教訓を残してい  
くかが大事だと思います。若い世代が参加  
しやすいような企画を考えていきたいで  
す。

## 6月26日 「山が消えた…パネル展」・佐久間充氏講演会

実行委員長として企画いたしました。  
「ああダンプ街道」著者佐久間充氏の講演  
会と、図書館の企画展示室で写真展を同  
時開催しました。多くの方にご参加いた  
だき、入りきれなくなってしまい申し訳ありま

せんでした。  
君津の森林・河川・地下水を子供たちに残  
してあげるためにも、山砂採取場、残土・  
産廃処分場にはきちんとしたルールが必  
要です。原発同様、何かあってから「絶対

安全なはずだった」では手遅れです。若い  
世代・都市部の方にも問題意識を持って  
もらえるように今後も企画していきます。

## 7月10日 衆議院議員「中後あつしと語る会」、参加しました。

私は中後あつし代議士の「政治に対する  
姿勢」をととても尊敬しています。この「ち  
ゅうごあつしと語る会」は上総・安房地区の  
7市1町にある約100の小学校区単位  
を対象に対話集会を開催するという活動

で、今回で30回目を迎えました。過密な  
スケジュールの中でも地元市民との対話  
を大事にする、政治に対して真面目な姿  
勢が尊敬できます。



## 7月19日 群馬大学片田教授の講演を聞きました。

かずさ青年会議所の7月例会において、  
「釜石の奇跡」として新聞にも取り上げら  
れた、防災教育で有名な片田教授の講演  
を聞くことが出来ました。感動しました。

「最善を尽くす避難」を教育することが多く  
の命を救ったのだと感じました。ぜひ一人  
でも多くの人に聞いてもらいたい内容で  
した。君津でも企画していきたいです。

議員それぞれが問題点と感じていることについて講演会等をおこなえば、市民意識の向上にもつながり、文化的なまちになります。私はこれからも講演会・上映会等を積極的に企画・実行していきます！

